

熊本地震を受けて ～街頭募金活動報告～



2016年4月14日以降、熊本を中心に九州を襲った地震。その地震で被害を受けた人々に対して、少しでも力になりたいという思いから、本センターでは2回の街頭募金活動に参加しました。

4/22（金）：高幡不動駅前「熊本地震」街頭募金

4月22日（金）16：00～19：00 高幡不動駅前にて「熊本地震募金」を実施しました。日野市社会福祉協議会・日野市ボランティアセンターにお声かけいただき、首都大学東京、中央大学、明星大学の学生たちが参加しました。本学からは2名の学生が参加しましたが、約50名の学生による呼びかけに比べ、小さなお子さんからご高齢の方まで、たくさんの方が募金してくださいました。

“熊本に応援の気持ちを送りたい！” “何かせずにはいられない！”という強い気持ちで、3時間誰も休むことなく呼びかけは続けられました。特に打ち合わせをすることもなく、誰かが呼びかけ、それに続くという形で分かりやすく想いのこもったメッセージが発信されていました。

なんと、募金額は【421,567円】でした！！本当にありがとうございました。

集まった募金は、日野市社会福祉協議会より日本赤十字社を通じ、全額を被災地に送金します。

5/8（日）：日野市「新選組まつり」での街頭募金

5月8日（日）に日野市社会福祉協議会・日野市ボランティアセンターが主催の街頭募金に参加しました。本学からは、急な呼びかけにもかかわらず、メールマガジンでの募集を見てくださった学生2人が参加。他にも法政大学、明星大学、実践女子大学、中央大学など多摩エリアの大学の学生が合同で行い、総勢25人での活動となりました。

会場がお祭りということもあって、募金会場はとても熱気がありました。他大学の学生とも交流しながら、一生懸命、大声で訴えかけていると、子どもたちからご高齢の方まで多くの方が募金に協力してくださいました。皆様のご協力により、3時間で【148,004円】の募金総額となりました。学生たちの一生懸命声を張り上げ頑張る姿が頼もしく、最後のふりかえりでは、「友人が熊本にいるのでその友人の事を想って活動した」「大学の先生に熊本出身の人がいるので力になりたい」など各々がいろいろな想いをもって活動していたことを改めて感じることができました。集まった募金は、日野市より日本赤十字社を通じ、全額を被災地に送金します。